

特定非営利活動法人(NPO法人) (通称: AAC21)

# 21世紀のカンボジアを支援する会

ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-701  
TEL 03-3991-2854 FAX 03-3557-1213  
E-mail: info@aac21.net

【関西支部】〒665-0061 兵庫県宝塚市仁川北3-10-27 中野方

【カンボジア事務所】 Phom Thmey, Sangkat Rokathom, Krong Chbamon, Komponspeu, Kingdom of Cambodia  
電話: (855) 12-519-114 (855) 12-467-604

【ホームページ】 AAC21

## 会報

### 幸福を、平和を、豊かな心を、 カンボジアの友と分かち合おう



# アンコールワット

発行日 2011年(平成23年)9月1日

第60号

(年6回 奇数月発行)

## 節電の夏に思う

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

今年、節電の夏である。元々、電気、石油製品、ガスなどのエネルギーは無限ではないので、原発事故にかかわらず普段から節約すべきであったろう。良い意味で、原発事故は贅沢に慣れてしまった日本人に、多大な教訓と試練を与えてくれたような気がしてならない。

今年、節電の夏である。元々、電気、石油製品、ガスなどのエネルギーは無限ではないので、原発事故にかかわらず普段から節約すべきであったろう。良い意味で、原発事故は贅沢に慣れてしまった日本人に、多大な教訓と試練を与えてくれたような気がしてならない。

原発事故が発生し電気の供給容量が低下する以前は、電気はあつて当然という感覚がしみついてしまった。石原都知事が強調しておられたが、自動販売機は異常なくらい台数が多く、昼夜稼働して電気を消費している。練馬区内の本会事務所の周辺だけでも、半径百メートル以内に二十台

先?の子どもの頃はエアコンがなく、扇風機とうちわで暑さをしのいだものだ。電車や自動車にもエアコンはなく、暑い時は、窓を開けるのが普通だった。夜は蚊帳を吊って寝たものだ。そんな暑苦しい生活の中でも毎日が楽しくて、少なからず子どもたちもより瞳は輝き生き生き



川遊びするカンボジアの子どもたち (コンボンスプー県オラル郡)

暮らしていた。ここで、カンボジアの電力事情に目を向けよう。原子力発電所はなく、火力と水力発電所が数ヶ所あるものの、経済発展著しいカンボジア、国内の発電所からの容量では足りず、隣国のタイとベトナムから電気を買っている。それでも足りないと思え、需要の多い時は予告なく停電する。(計画停電なし)多いときは一日一回、二回、停電の長さは二、三

時間。こんな状況なので、ホテルや工場の多くは自家発電機を持っていて、通常の電気と併用している。都市部を離れ、地方の農村へ行けば行くほど、電気はなくなる。そこで活躍しているのが、車で使うバッテリー。業者さんが家庭を回り充電する。日本ではあり得ない新商売だ。バッテリーも買えない農家は、日が沈めば寝て、日が昇れば起きて働くという、自然の中の暮らしぶりだ。

もちろん、電気があつて便利なのは最高だ。しかし、電気、水道、ガスなしで暮らす人たちは、カンボジアに限らず世界中に数億人、いや十数億人いるかもしれない。国境がある限りこの差は縮まることはない。国境の差を埋めるべく活動するのがNGO(NPO)の本来の姿だろう。



◀朝は午前5時頃起床。5時半から約30分、決められた掃除分担により、各人の部屋や夢ホームの庭などを掃除。特に砂ほこりの多いカンボジアでは、毎日の掃除は欠かせない日課だ。



◀食事は3食。朝食は午前6時～、昼食は11時15分～、夕食は午後6時～。ごはん、おかずが2品ほど。子どもたちは育ち盛りでごはんをたくさん食べるので、お米のプレゼントはありがたい。



◀午前組、午後組に分かれ、近隣のタメイ小学校と、チャイチョップ中学校へ通学。(午前7時～11時、午後は1時～5時)小学校は近いので歩いて行くが、中学校は遠いので、自転車で通学。



◀午前11時45分～12時半と、午後5時～6時、中学生は学校の近くにある学習塾で英語を学ぶ。受講料は自分たちのお小遣いで。夢ホームの子どもたちは受講料を半額にしてもらっている。



◀夕食後、夢ホーム内の図書館で30分～1時間ほど宿題をする。宿題のない日は次の日の予習を。日本にいる里親から教育支援を受け、夢を持って熱心に勉強している。



◀午後7時半～9時、新潟県の三林けい子さんの指導で、インターネットのスカイプにより、日本語を学ぶ。将来、本会事務所の日本語スタッフとして勤める子が誕生するかも?!



◀夜は部屋でくつろぐ。男子棟ができたので、1部屋2人～3人で暮らす。就寝は午後9時半頃。部屋にエアコンはないが、天井に扇風機がついている。

本会がカンボジアのコンボンスプー県で運営する児童養護施設「夢ホーム」は二〇〇九年一月に開設し、はや二年九ヶ月が過ぎようとしている。子どもたちのほとんどが、両親又は片親を亡くし、劣悪な環境の中で暮らしていたが、今は「夢ホーム」

で文字通り、夢を持って充実した日々を過ごしている。最近では五月に男子棟が完成、部屋数が増えたので三人の年若い子どもが入園し、その数は丁度二十人、四人のカンボジア人スタッフが子どもたちのお世話をしている。忙しい子どもたちの一日を追った。

### お米を寄贈してください

夢ホームでは、一袋が五十kg入りのお米を一カ月に約六袋消費します。お米は現地の商店にて一袋三千五百円(送料込み)で購入することができ、郵便振込票に「夢ホーム用お米代」と明記して送金してください。現地に購入し、夢ホームへお届けします。(後日写真を送ります)



スタッフと子どもたち(このほど完成した男子棟玄関で) 4才から14才までの男子10人、女子10人が生活する

## カンボジアの子どもたちをサポートしてください

### クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、大多数の人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。思えば65年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子ども達を支援する番です。 ※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

- 【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月2500円×12ヵ月)のどちらも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。
- 【会費の用途】: 学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金などに使われます。このほか、現地スタッフの給料、ガソリン代、事務所家賃など現地でかかる経費、通信費、印刷費など東京の本部でかかる経費として使われます。
- 【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも子どもが学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。
- 【里子との交流】: 里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。現地で暮らす里子に会いにいくための旅行も年3回実施しております。

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、公的資金(税金)は一切いただいておりません。



# 児童養護施設《夢ホーム》日記

## 園田さん夫妻などから8袋のお米寄贈される

園田健次・美代子様ご夫妻（群馬県太田市・里親会員）ほか1名様より、お米（50kg入り8袋）が寄贈された。7月7日、現地を訪問した根岸理事長らが届けた。お米の寄贈は1袋からでも受け付けている。



## 排水工事を実施

男子棟のトイレ、洗面所の排水槽に不備があり、排水が逆流してしまうトラブルが発生、急遽、建設業者の手により修復工事が実施された。夢ホーム外の道路に1年前埋設した土管に排水を流す許可を地元村長さんからもらえたので、早速工事を開始した。



「よくできました!」と子どもたちにご褒美を渡す鈴木さん

熟練した板金加工技術を持つ鈴木千雄さん（愛知県あま市・里親会員）が、カンボジアの子どもたちを対象にその技術を教える「もの作り技能講習会」が七月四日～八日、夢ホーム内の職業訓練棟で開催、八人の中学生が受講した。鈴木さんは隔月にカンボジア（夢ホーム）を訪問、夢ホームや近所の子どものために技術指導している。今回の講習会では、以前に制作したチリトリに加え、子どもたちからのリクエストで、教科書やノートを収納する箱を作った。カンボジアではこの時期、年度末の試験が行なわれており、一部中学生は講習会の前半を欠席した。次回（第九回）の講習会は、九月五日～九日に行なわれる予定。

## 第八回「もの作り技能講習会」開催（夢ホーム）

## 7月はカンボジアの小学校に1基の井戸が贈呈

7月は、1つの小学校に井戸を寄贈した。7月8日、寄贈者に代わり、石川桂さん（愛知県安城市・里親会員）が小学校を訪問、贈呈式の中であいさつした。

東日本大震災などの影響もあって、最近は井戸を寄贈してくれる人が減少傾向にあるものの、9月は10の小学校に井戸を寄贈する予定。現地の小学校からは沢山の井戸設置要望書が届いているため、引き続きあたたかなご支援をお願いしたい。井戸は手押しポンプ式で、1基15万円（寄贈者のネームプレート付き）で完成する。詳しくは事務局へご連絡を。



きれいな水で手を洗う子どもたち

### 7月に完成した井戸の内訳

設置場所	生徒数	県・郡名	寄贈者様
① プライタタン小学校	1237人	コンポチヤム県プレイチュ郡	大橋緑様

※通算の井戸設置数=180基(2011年7月現在)

## カンボジアミニニュース

現地で発行している新聞や情報誌から、カンボジアに関するミニニュースをご紹介します。

### 外国人観光客が増加

カンボジア観光省によると、今年一月から三月までにカンボジアを訪問した外国人観光客は合計七十七万八千人、前年同期より十四%伸びたという。最も多かったのはベトナム人で、約十三万人。続いて、韓国人が約十万七千人、中国人が約六万七千人、日本人は中国人に次ぐ四位で約五万人。米国人、フランス人、英国人、オーストラリア人と続く。

### 工 期便を復活

エルフランス航空が、三十七年ぶりにブノンペンとパリの定期旅客便を復活させた。フランスはカンボジアの旧宗主国だが、一九七五年、ポルポト政権樹立後、定期便は途絶えていた。定期便は、当面週往復三便、すべての便がバンコク経由する。エルフランスの代表執行役員は「欧州の航空会社の中で、最初にブノンペンに定期便を復活させたことを誇りに思う」と話した。

### 製 造業大手「コニベア」がブノンペン経済特区に進出

精密小型モーターなどの製造業大手「コニベア」が五月、カンボジア工場の起工式をブノンペン経済特区で行なった。

### 投稿

#### ブノンペン訪問で見た明と暗

石川 桂

七月八日、大橋様寄贈の井戸贈呈式に出席、代理で挨拶する。以前に使用していた古い手押し式のポンプが壊れたままの状態をみて心が痛む。

九月校舎建設工事が予定されているトロバントム小学校（コンボンチャム州）を訪問して関係者と打ち合わせをする。ポルポト政権時代に地元民が建てた、現在小学生一、二年生が学んでいる校舎が新しい学舎になる姿を想像して、来年三月の子どもの地元の再会を誓う。

三月に訪問した夢ホームの様子と比較して、園内にすばらしい二棟の建物が建ち整備されたのに驚く。入園生の生活の変化が子どもの顔の明るい表情によく表れている。

### パ ナソニックが代表事務所を開設

日本の大手電機メーカー「パナソニック」がカンボジアに初の代表事務所を構えることとなった。宮本郁夫アジア大洋州本部長は、ブノンペンのカンボジアの「若くてダイナミック」な労働力に注目し、政府の外資系企業誘致政策に賞賛を贈った。同社は昨年度、カンボジアでのエアコン販売において六十八%のシェアを獲得したという。今後は新製品を紹介していくと同時に、アフターケアサービスも導入していく方向だ。

### タ イの皮膚科業界が注意喚起

カンボジア、特にシエムリアップでも多く見られ、旅行者に人気の「フィッシュ・スパ」についてタイの皮膚科業界が「フィッシュ・スパ」で皮膚病に感染する可能性があることと注意を呼びかけた。「フィッシュ・スパ」は「ドクター・フィッシュ」などとも呼ばれ、特殊な小魚が入った水槽に足を入れると、魚が足に吸い付き、皮膚の老廃物などを取ってくれると同時にマッサージ効果があるとされている。ここ数年で爆発的な人気を呼び、世界中に広まった。そのため、シエムリアップのストリートやブノンペンのロシアンマーケット付近でも多く見られるようになったが、同学会によると「小魚自体は危険なものではないが、水槽内が水虫などの皮膚病の温床になり、感染が拡大する可能性がある。とりわけ傷のある人には勧められない」との事。

### 秋は楽しいイベントの季節です

毎年、恒例になりましたグローバルフェスタに今年も出展します。どうぞお出かけください。また当日、お手伝いしてくれるボランティアさんを募集しています。詳細は事務局へお電話を。

### ＜グローバルフェスタ 2011＞

日時：10月1日（土）～2日（日）  
午前10時～午後5時  
会場：東京都千代田区、日比谷公園

約200の国際協力NGOやNPOが参加する日本最大級のお祭りです。今回は記念すべき10回目の出展になります。

## ウオッチ!カンボジア

八十七歳と六十五歳のおばあちゃん内戦が長く続いたカンボジアは高齢者が少ないが、たまたま訪れたコボンチャム県の村で、八十七歳のおばあちゃんとその子どもに会った。子どもといっても今年、六十五歳になったという。六十五歳以上で親子が存命なケースはカンボジアでは稀だという。ポルポト時代のお話を聞くことができた。



### 川べりで暮らす一家

コンボンズプー県の村で、川沿いに家を造り、住んでいる家族が沢山あったので、写真も撮らせてもらった。二人の子どもの裸で生活しているという。多少汚れていても水があれば生きていける。希望していたメコン川の中州にある島の伝統ある織りの工房を訪れた。十七歳の少女の操る巧みな業と見事な織布に生まれ変わるカンボジアの伝統のすばらしさに驚かされる。



### 織物の村を見学

カンボジアの首都ブノンペンから、車と船に乗り約二時間のところ、織物で生計を立てて暮らす村を訪れた。メコン川の中州にある小さな村、高床式住居の下で手動の織機を動かして、娘さんらが働いていた。





### 練馬区NPOパネル展に出展



主に、「クメール教育里親基金」のPRを行なった。六月七日(十四日、東京都練馬区役所内の通路において、区内NPO団体の活動を紹介する「NPOパネル展」が開催され、本会も出展した。

練馬区内には約二百のNPO法人があるが、そのうち約十団体が出展した。会報やチラシを配ることもでき、有意義な活動だった。

### 里子家庭訪問記録

名前: イー・サムオール	学校名: ヴィルボン中学校	
年齢: 13歳	学年: 中学校の2年生	性別: 男の子
住んでいる場所: コンボンスプー県 ウドン郡 トロバンクム村		
所要時間(徒歩又は自転車): 自転車: 40分		
好きな教科: 国語(特に読解が好きです。)		
苦手な教科: 算数(特に分数の計算式を解くのが難しいです。)		
担任から一言: 成績は、道德: A、学校の活動: A、健康: A、出席: A		
家庭状況: 7人の兄弟です。お兄さん2人、お姉さん1人、弟1人、妹2人、イー・サムオール君は第4子です。父親がいます。母親がいます。現在、父親、母親と5人の子供で暮らしています。		
一日の過ごし方: 朝5時頃に起きると、家の周りを掃除します。朝食の後、身支度をし、中学校へ通っています。授業が終わってから、家に戻ります。家族と夕食をしてから、ろうそくで本を読んだり、学校で勉強したことを復習したりしてから10時半頃に寝ます。		
好きな遊び: サッカーをするのが好きです。		
好きな食べ物: 緑野菜、果物		
将来の夢: 医者です。		

備考: 里親さんからお米や日用品を頂いた時、サムオール君と家族は皆、嬉しい気持ちになりました。「これらはつらい生活を一時解決することが出来ました。里親さん、ありがとうございました。」と家族の皆が言っていました。父親は毎年、この時期に、村の人の田んぼを耕しています。その仕事のお礼でお米を頂くそうです。母親は病気がちですが、家でヤシの葉っぱで屋根を作っています。里親さんのお陰で、今年、サムオール君は中学校の2年生になりました。授業は午前と午後一日あります。毎日、授業が忙しくても、時間を作って算数の塾へ通っているそうです。

2011年7月13日  
担当者: メン・ソマリ



家の中で家族と立っているサムオール君の写真です。

### クメール教育里親基金活動レポート

「クメール教育里親基金」では、七月末日現在、四百十五人のカンボジアに住む子どもたちを教育支援している。多くの里子たちが、家庭の事情で学校を卒業しないまま中退していく中で、初めて高校を卒業するケースが出た。コンボンスプー県オラル郡に住む、クン・ソーンちゃん(女性)だ。父親が早く亡くなったため、母親のわずかな収入と日本の里親さんからの教育支援金で小・中学校を卒業、高等学校が自宅から通える所があったことも幸いした。

里親さんから、高校卒業後の進路について本人に会って聞いてほしいとの要請があり、根岸理事長自ら、自宅を訪問し話を聞いた。クン・ソーンちゃんは向学心があり、大学へ進学する希望があるものの、彼女の住む村には大学がないため、都市部へ移り住まねばならないことが分かった。

このことを里親さんに相談したところ、本人の願いを叶えてあげたいと、大



左から母親、クン・ソーン、根岸理事長、カンボジア人スタッフのスリン(7月12日、自宅で)

投稿

福井県で初めての写真展開催

佃 絹代

クレジット

投稿

福井県で初めての写真展開催

佃 絹代

投稿

ゴミがなくて、ほごりがたっていますでした

クリム・クリル

私はむっくんです。初めて日本を訪問しました。周りの景色を見て、感動しました。日本は素晴らしい国です。高いビルが多くて、景色は素晴らしいです。特に、日本の道路は全てアスファルトで舗装されています。スーパーに行く途中、ゴミがなくて、ホゴリがたっています。一週間の旅行では日本の料理が美味しかったです。遠藤さんの家から富士山が見えて、うれしかったです。その時、温泉に入りました。日本はとてもきれいでした。カンボジアに戻っても日本のことが頭から離れません。

(チャイチョップ中学校二年生)

投稿

福井県で初めての写真展開催

佃 絹代

クレジット

投稿

福井県で初めての写真展開催

佃 絹代



動物園で鹿に餌をあげる(クリム・クリル)



里親さんと感激のご対面(ソム・クソーム)

投稿

五月二十日(二十七日、愛知県の鈴木千雄さんの招待により来日した「夢ホーム」のクリム・クリル君とソム・クソーム君から感想文が届きましたので、紹介いたします。(原文はクメール語、日本語訳は現地スタッフ)

また、私のオカリナ教室の仲間が来てくださいます。景気付けにと、オカリナを会場で演奏してくれました。私も一緒に演奏致しました。

(福井県高浜町在住・里親会員)

投稿

日本人は服を着ないで温泉に入りました

ソム・クソーム

こんにちは、私はクソームちゃんです。現在、夢ホームで生活しています。私は日本へ訪問できてとても嬉しかったです。日本は先進国でした。日本の景色は素晴らしいです。一週間の旅行ではスーパーを訪問して、魚を釣っている所を見に行きました。そこで、釣りをした魚を焼いて食べました。とても美味しかったです。

次の日、静岡県の遠藤さんの家へ新幹線で行きました。とても遠かったです。そこで富士山の山頂に雪が見えて、素晴らしいです。温泉に入りましたが、日本人は服を着ないで温泉に入りました。カンボジア人と対照的な習慣です。おかしいですね。日本へ行ったら、もう一度行きたいと思っています。

(チャイチョップ中学校二年生)

投稿

日本語指導と書写(習字)の指導について(六月二十七日(六月三十日)

中野 勝

今回は、パンニヤストラトラ大学にクラスがないので、王立法律経済大学の書写(習字)のみにしました。この大学は名古屋大学日本教育研究センターが連携して、日本法を選択した学生に日本語を教えている組織です。日本法以外にカンボジアの法整備にも尽力する組織でもあります。カンボジアの他にモンゴル、ウズベキスタン、ベトナムの大学内に事務所を置いて日本法を教えています。

昨年の十月で三年生までそろいました。各学年二十五名くらいいましたが、大学を辞めた者、日本語についていけない者が出てきて、人数は減っています。(理事、関西支部長)

投稿

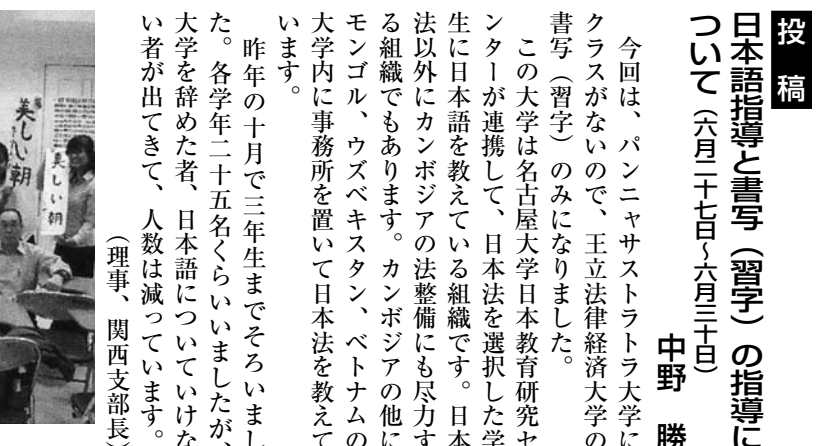
日本人は服を着ないで温泉に入りました

ソム・クソーム

こんにちは、私はクソームちゃんです。現在、夢ホームで生活しています。私は日本へ訪問できてとても嬉しかったです。日本は先進国でした。日本の景色は素晴らしいです。一週間の旅行ではスーパーを訪問して、魚を釣っている所を見に行きました。そこで、釣りをした魚を焼いて食べました。とても美味しかったです。

次の日、静岡県の遠藤さんの家へ新幹線で行きました。とても遠かったです。そこで富士山の山頂に雪が見えて、素晴らしいです。温泉に入りましたが、日本人は服を着ないで温泉に入りました。カンボジア人と対照的な習慣です。おかしいですね。日本へ行ったら、もう一度行きたいと思っています。

(チャイチョップ中学校二年生)



2期生、2年生です



### 第二回「鑄造によるアクセサリー作り」技術講習会を開催



講習会の様子（夢工房）

七月二十五日～三十日、「鑄造によるアクセサリー作り」を教える第二回技術講習会が夢ホーム内「夢工房」で行なわれた。講師を務める榎戸徹彦さん（横浜市在住・里親会員）は、忙しい中、七月二十四日から八月二日まで夢ホームに滞在、七人の生徒に対しアクセサリー作りを熱心に教えてくれた。

今回の授業内容は、五月に行なわれた第一回講習会で生徒たちが作ったWAXのペンダント原型を榎戸さんが日本で鑄造、それをピカピカに仕上げること。さらに次の課題として、クメールの伝統文様のペンダント作りも行なった。

第三回の講習会は、九月二十日～二十四日を予定している。

### 小原武次郎さん夢ホーム訪問、お米を寄贈

七月二十五日、二十八日、小原武次郎さん（大阪府在住・会員）が夢ホームを訪問、ボランティア活動をしてくれた。

また、子どもたちへのお土産として、お米を四袋寄贈してくれた。



小原さんよりお米4袋いただきました

### トゥッサナー・カンボジア



タ・タンボン像

今回バタンボン州を訪ねたとき、カンボジアの州名について次のような点に気がしました。バタンボン市の入り口に「タ・タンボン像」があります。説明を聞くと、バタンボンの名前の由来は、実在した將軍といわれ、持っている棒（ボンまたはポーン）を失くしたことから

### 州名の由来

つけられたといわれています。反対側のアンコールワットのあるシエムリアップ州は、かつてのシャムとの戦いで、「シャムから取り戻した砦」という意味で、カンボジア人は「シャムリアップ（砦）」と呼んでいるのと同じでしょう。

さらに、コンポントム州は、コンポントム川、トム川、という意味です。港といっても海ではなく、海のように大きなトンレサップ湖（川）を利用した水上輸送の基点であったことでしょう。

まだ調べていませんが、コンポンチャム州、コンポンチュナム（チュナン）州など調べれば、州名の由来がわかり、カンボジアの歴史も理解できるのではないのでしょうか？

（理事・関西支部長、中野勝）

### 投稿

#### カンボジアのトゥクトゥクとモト運転手

鈴木春男



プノンペン中央市場近く

カンボジアの国の成長率は近隣アジア諸国同様に、近年5%前後と成長を続けています。しかしながら街には職の無い人に至るところで見掛けます。

統計が無いので分かりませんが、失業率は相当な数字でしょう。10%または20%もしくは30%！でしょう。そこで手取り早く稼げる仕事として、トゥクトゥクとモトの運転手があります。

トゥクトゥクはバイクの後ろに屋根付きの向かい合わせ座席のある車を繋げて走る乗り物。人だけでなく物も運びます。屋根だけで四方開放ですので街並みを見るには最適です。雨が降れば屋根の上の四辺に巻いてあったビニールを下ろして客を濡らしません。

モトとはオートバイの事で、ほとんど

が二五ccのスクーター。後部座席に客を乗せて走ります。両者とも定員はありませぬ。乗れるだけ乗ります。運転手には安全ヘルメット着用が義務付けられています。なのに後ろの乗客には義務が無いのでありません。危険度は後部席の方が遥かに高いのに不思議です。

ヘルメットが無ければ罰金で、その場の現金払いで一件落着。罰金の金額は1ドルから2ドル。その金のほとんどは警官の懐に入ります。安い公務員給料を補填しています。

バックミラーが無いのも罰金です。オートバイのバックミラーはよく盗まれますので、駐輪する時にはバックミラーを外し、そのまま付け忘れて走って取り締まりに引っかけられる人がいます。

カンボジアの街を歩きますと、どこからか「トゥクトゥク」「モト！」の声がかかって来ます。日銭を稼げる商売ですが、如何せん数が多過ぎます。ホテル前とかバス駅では、たむろして客待ちし、客が出て来ると客取り合戦が始まります。日本人とわかると「安い安い」とか「どこ行く」と声を掛けてきます。

値切りの苦手な日本人は上客です。街の観光二時間ほどで十五ドル。一日十ドル稼げば月三百ドル。家族五人の食費が一日五ドル程度ですので、そこそこ暮らしていけます。ちなみに土木作業員の日当は五ドル前後。店員の月給が五十ドルから百ドル前後。そんな社会です。

（静岡県磐田市在住・里親会員）

## 平成23年度 賞金・商品総額500万円+社長が気に入ればすぐに買い取ってくれる!

### 『東久邇宮記念会 全国発明大会& 全国ネーミング&キャラクターコンクール』

生活雑貨や身の回り用品、介護グッズや子育てグッズまで、ありとあらゆる発明品を大募集!

「こんなものが欲しいのよ!」というものを、あなたが発明してみませんか?

予備審査・本選共に企業の肩が審査をしてくれていますので、入賞してもなくても、商品化されるチャンスがあります!

フリー課題でネーミングやキャラクターを考えてください。

「え!?これくらいのキャラクターなら私でもできそうだけど...?」というもの、目にしませんか?

よいネーミングやキャラクターは予備審査でも買い手がつかうチャンスがあります!

- |                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ◆東久邇宮記念大賞【第1位】<br>賞金30万円+賞状+トロフィー | ◆東久邇宮記念大賞【第1位】<br>賞金10万円+賞状+トロフィー |
| ◆豊澤豊雄賞【第2位】<br>賞金10万円+賞状+トロフィー    | ◆豊澤豊雄賞【第2位】<br>賞金5万円+賞状+トロフィー     |
| ◆知的財産学校賞【第3位】<br>賞金5万円+賞状+盾       | ◆知的財産学校賞【第3位】<br>賞金5万円+賞状+盾       |
- 上記各賞の他にもスポンサー賞等が多数あり、各賞（決勝発表大会出場）に、賞金・賞状・副賞が用意されています。日米の企業社長が審査します。いいものは入賞に関係なく契約してくれます。

●応募資格 不問  
●応募方法 所定の応募用紙に記入、応募点数制限なし。ただし、応募用紙1枚につき1点  
●応募用紙請求方法 下部申込書へ記入の上、現金書留もしくは郵便で、費用とともに送付。  
発明の部応募用紙：1セット（応募用紙2枚入り）2,000円  
ネーミング&キャラクターの部：1セット（応募用紙2枚入り）1,000円

●応募メチ 平成23年10月18日(必着) ※各部とも応募用紙1枚で1点の応募ができます。  
●発表 予備審査：11月上旬 入賞者へ通知  
投票審査：12月上旬 決勝発表大会で受賞作品決定!  
最終結果：12月下旬 ウェブサイト上

※ 知的所有権協会への著作権立証登録をしているものに関しては、そのコピーでも発明の部へ応募できます。その場合は、コピーと1,000円を添えてご応募下さい。

（応募・応募用紙請求先）  
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-13-4 北原ビル303「全国発明大会」係

### 事務局便り

■秋は活動の季節。恒例のグローバルフェスタを始め、沢山の活動、イベントを用意して、皆さまをお待ちしております。

■11月に実施される第19回カンボジアふれあいの旅の参加者を募集しております。7月の旅が中止になり、今年は春・秋と2回のふれあいの旅です。この時期、カンボジアも日本の秋のように爽やかですので、奮ってご参加ください。

■写真展を開催して下さる方を探しております。皆さまの地域で、小さな写真展を開きませんか?写真は本会事務局よりお送りいたします。詳細はお問い合わせください。

- 9月～10月の予定 -----
- 会報「アンコールワット」9月1日号付第60号発行
  - カンボジア訪問ミニツアー（9月3日～28日）
  - 福井県高浜町で写真展開催（9月18日～19日）
  - グローバルフェスタ2011に出展（10月1日～2日、日比谷公園）
  - 名古屋国際センターで写真展開催（10月7日～11日）
  - 第34回練馬まつりに出展（10月16日、練馬区内）

### 地理

- ・モンスーン（季節風）帯に属し、国土は北緯10度～15度の亜熱帯圏に属する
- ・「森の国」と言えるが、平野部が国土の約40%で人口の87%が集住する。
- ・地形、隣国からの侵略を受け易く、国土は「巾着型」をしており、タイ・ベトナム両国から歴史的侵略が激しかったことを物語っている。
- ・水系はトンレサップ、メコンの両水系によって二分され、プノンペンで合流・分岐する。トンレサップ湖は東南アジア最大の広さの湖で雨季には、メコン川からトンレサップ川に流れ込む流量で湖に向かって逆流し、湖の面積を大きく広げる。湖は淡水魚の宝庫で生息種類数は世界一、また、漁獲量は10kg

### カンボジアの風土について

10km<sup>2</sup>で世界一を誇る。トンレサップ川の水位は最低1m、最高9mを繰り返す、70年間ほとんど変わらない。メコン川は、チベット高原に源を発し、中国・ラオス・カンボジア・ベトナムを通過、南シナ海に入る。

・カンボジア西部のタイ国境からタイ湾にかけてクラヴァーン山脈、南部にダムレイ山脈(最高峰フン・アウラル：1764m)がある。北西部のタイ国境にドンレク山脈がある。メコン川より東側のラタナキリ、モンドルキリ州には丘陵高原が広がる。

・1994年のメコン委員会での人工衛星による調査によれば、森林が20年間で10%減少、洪水埋没林の伐採で31% (約110万km<sup>2</sup>)減少した。水田は1985～92年で約40万km<sup>2</sup>増加する。一方、その内の69%が耕作放棄地である。

### 活動に参加しませんか

学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年三回実施しています。

クメール教育里親基金

農村の貧しい子ども達が学校に行けるようにと教育資金をサポートして下さる里親会員を募集しています。サポート金額は年間三万円(分割可)です。

会員7人

- ・個人会員 (年額一〇三〇〇円)
- ※来年度より五千元になります。
- ・法人会員 (年額一〇二万円)
- ・里親会員 (年額三万円)

会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。会費の送付は、郵便振替、銀行振込み、現金書留で、郵便振替口座番号

21世紀のカンボジアを支援する会

〈口座番号〉  
001300-0160916

※銀行振込をご希望の方は事務局へご一報ください。

※郵貯銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご一報ください。